

## あなたの使命とは(28)「片思いの神様」

メッセージノート (2023.7.2)

エペソ4:30-32<sup>30</sup> 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、聖霊により、贖いの日に対して保証されているのです。<sup>31</sup> 無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりなどすべてを、一切の悪意と一緒に捨てなさい。<sup>32</sup> 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。(新共同訳)

### 1. 聖霊を悲しませる

#### ・ 聖霊を悲しませる(30a)

- これまで他人の期待に応えて来なかった私は、この言葉は重たく感じる。
- 「悲しませる(ルパオウ)」: 否定を伴う現在時制の命令形は、継続する習慣的行為を禁止する意図を表す。「人に真理を証する聖霊は、聖徒らが互いに嘘をついたり、下品な話をしたりする時、気まずさを感じさせる」(バルト)。
- 異なるレベルの悲しみではないか?
  - 村上宗隆選手に対するヤクルトファンの悲しみと彼の両親の悲しみの違い
  - 私の両親の悲しみ: 我こととして悲しむのであって、断罪し切り捨てるのではない。いつか必ず立ち直ることを信じ期待してしてくれた。

ローマ8:15-16<sup>15</sup> あなたがたは再び恐れをいだかせる奴隷の霊を受けたのではなく、子たる身分を授ける霊を受けたのである。その霊によって、わたしたちは「アバ、父よ」と呼ぶのである。<sup>16</sup> 御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる。(口語訳)

#### ・ 贖いの日に対しての保証(30b)

- 聖霊は、単に天国に行ける保証(エペソ 1:4「聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証」)だけでなく、私たちの内なる人を強め、正しい生き方を選択できるよう導き育て(3:16)、互いに仕え合い一致して(4:3)、与えられた使命を全うしていくことができるように助けてくださる(4:12)。
- 私は、聖霊によって、「墮落と破滅への道から守られてきている」(6/29のジャーナル)
  - 橋本先生のお母さんのこと

### 2. 親切で、哀れみの心で、赦す

#### ・ 無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりを一切の悪意ともに脱ぎ捨てる(31)

- 「無慈悲(ピクリア)」は、どんな和解の要求も拒絶する「根にもった恨みがましさ」。受けた傷を絶対に手放さない意固地さ。
- 「憤り(テウモス)」は、藁が一気に燃え上がるような怒りで、すぐに収まる。一方、「怒り(オルゲー)」は、習慣的で執念深い怒り。前者を放っておくと、しばしば膿んで、発酵し癒しがたい憎しみへと発展していく。
- 「わめき(クラウゲー)」は、怒っている人の感情の爆発が声になって出る様子。「そしり(ブラスフェーミア)」は、しばしば神を冒瀆する時に使われる言葉であるが、人に使われる場合は、意図的に他人を侮辱し中傷する時に使用する言葉のこと。
- 「悪意(カキア)」は、人を傷つける思い、恨みを意味し、心の中(a,b)であろうと、表に出た言葉(c)であろうと、心の奥底に張っている根の部分と言える。
  - 聖霊は、私たちの心に潜んでいる「醜い心(思い)」をご存知で、様々な機会に私たちの心に語りかけられる。

「こうしたものを脱ぎ捨てよ」と。しかし、それは決して簡単なことではない。

- 私たちは心の中で、「どうして私だけがこんな人生を生きなければならないのか」「こんなことがいつまで続くのか」「どうして私は、あの人のようには恵まれないのか」と思っている。
- ・ どうやって親切で、互いに憐れみの心で接し、互いに赦し合うことができるのか？
  - a. ルカによる福音者の「平地の説教」：**ルカ6:27-36** ……<sup>35</sup> しかし、あなたがたは敵を愛しなさい。人に善いことをし、何も当てにしないで貸しなさい。そうすれば、たくさんの報いがあり、いと高き方の子となる。いと高き方は、恩を知らない者にも悪人にも、情け深いからである。<sup>36</sup> あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。(新共同訳)
    - どうしてこんなことができるのか？父が憐れみ深さを経験することによって。エペソ 4:32 では、「神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように」とある。
  - b. キリストはあなたをどのように赦されたのか？
    - 完全に赦し覚えていない  
**イザヤ 43:25** わたし、このわたしは、わたし自身のために、あなたの背きの罪をぬぐい、あなたの罪を思い出さないことにする。(新共同訳)  
**エレミヤ 31:34** わたしは彼らの罪を赦し、忘れる。(LB)  
**ミカ 7:18-19**<sup>18</sup> あなたのような神が、ほかにいるでしょうか。あなたはご自分の民の中で生き残った者の罪を赦して下さいます。あわれみを好み、ご自分のためをいつまでも怒ってはおられません。<sup>19</sup> 再び、私たちにあわれみをかけて下さいます。私たちの罪を踏みつけ、海の底に投げ込まれます。(LB)
    - 完璧な身代わりによって赦されたから  
**創世記 22:7-14** ……アブラハムは羊を捕まえ、息子の代わりに、完全に焼き尽くすいけにえとしてささげました。<sup>14</sup> このことがあってから、アブラハムはそこをアドナイ・イルエ〔「神は用意して下さる」の意〕と呼びました。現在でも、そう呼ばれています。(LB)
      - このストーリーは、アブラハムと父なる神の葛藤が見事に重なる：①最愛のひとり子を失う父の悲しみ(神の思いやり)。②傷のない完璧な代価(赦しの完全さ)。③神は想像を超えて働かれる。
      - イサクの代わりに神が用意された場所、モリヤ山はどこにあったのか？イエスが十字架につけられたゴルゴダの丘。そこには今も神殿が建てられている。これが神のなされる業なのである。
      - あなたの赦しが、どれほど完全なものであるのかということが、この計画の完璧さからもわかるだろう。我が子に臨む悪夢のゆえに、心が引き裂かれそうになっていたアブラハムが、神の深い配慮に触れ、心は感謝に変わる。私たちも同じような恵みを経験する必要がある。
    - 恵みの赦しを経験する：「神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい」。
      - 新約聖書には「赦す」という言葉が、200回出てくる。そのうちの25回は「カリゾマイ」で、175回は「アフィエイミ(神に預ける)」)。ここは「カリゾマイ」が使われている。「カリゾマイ」は、「カリス(恵み)」から派生した言葉で、神の人への一方的な恵み深い赦しを意味するが、ここでは、その神の驚くべき恵みの赦しを体験した者が、その恵みによって人を赦すことができるようになることと教える。

## まとめ

あなたは神の愛を経験したことはあるか？もしまだなら、正直に「ください」と求めればよい。なぜなら、神があなたを造り、この地上に存在させた第一の理由は、この神の赦しの恵みを経験させるためだったのだから。